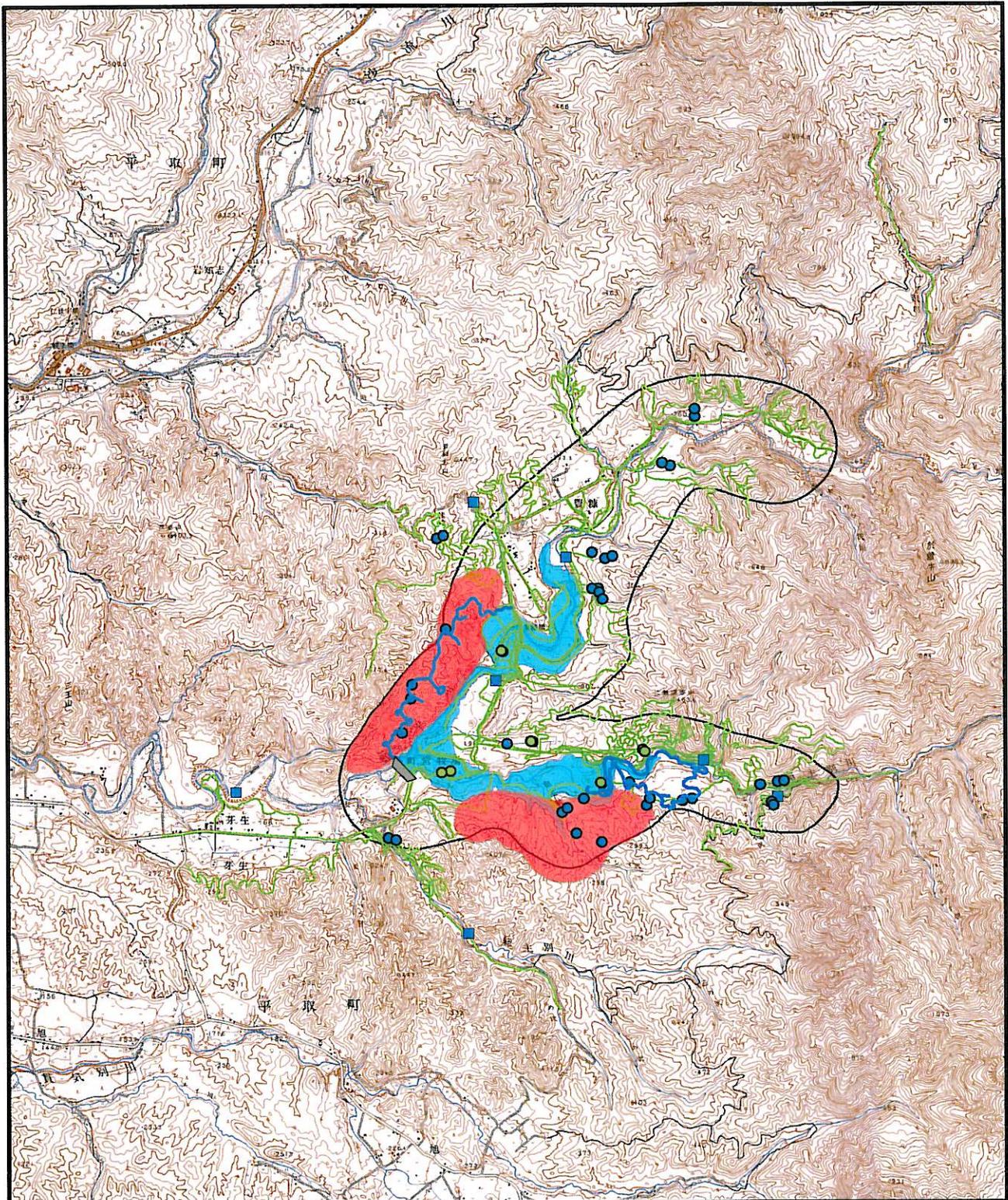


## 3-2 動物

## 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類

## 追加した調査項目

調査項目	調査方法	調査年度	調査時期	追加調査が必要な理由	
動物	哺乳類	重要な種調査： 任意踏査（エゾクロテンを 対象）	平成16年度	冬季	既往の調査で比較的調査密度が低い範囲 について、冬季の生息状況を把握するた め、平成16年度冬季に調査を追加する。
		コウモリ類：樹洞、廃屋、 横孔等の踏査	平成16年度	冬季	集団営巣地やねぐら環境となる樹洞、廃 屋、横孔等の分布状況を把握するため、 調査地域内において集団営巣地やねぐら 環境となる樹洞、廃屋、横孔等の踏査を 追加する。
鳥類		相調査： ラインセンサス法、定位記 録法（夜間含む）	平成16年度 ～17年度	冬季、春季	既往の調査で比較的調査密度が低い範囲 について、冬季、春季の生息状況を把握 するため、平成16年度冬季、平成17年 度春季に調査を追加する。
		重要な種（全般）調査： 相調査時に同時に実施	平成16年度 ～17年度	冬季、春季	既往の調査で比較的調査密度が低い範囲 について、春季、冬季の生息状況を把握 するため、平成16年度冬季、平成17年 度春季に調査を追加する。
		重要な種（ヒシクイ）調査： 任意踏査	平成16年度	春季	調査適期の渡りの時期の生息状況を把握 するため、早春季に河川域の調査を追加 する。
		重要な種（クマガラ、オオ アカゲラ）調査： 営巣木調査	平成16年度	冬季	既往の調査で比較的調査密度が低い範囲 について、営巣の状況を把握するため、 平成16年度冬季に営巣木の調査を追加す る。（営巣木調査により営巣可能性木が 確認された場合には、平成17年度の繁殖 期に繁殖確認調査を追加する。）
爬虫類	相調査： 任意踏査	平成17年度	春季、夏季	既往の調査で比較的調査密度が低い範囲 について、生息状況を把握するため、平 成17年度春季、夏季に調査を追加する。	
両生類	相調査： 任意踏査	平成17年度	春季、夏季	既往の調査で比較的調査密度が低い範囲 について、生息状況を把握するため、平 成17年度春季、夏季に調査を追加する。	
	重要な種調査： 任意踏査	平成17年度	春季、夏季	既往の調査で比較的調査密度が低い範囲 について、生息状況を把握するため、平 成17年度春季、夏季に調査を追加する。	
魚類	重要な種調査： 捕獲調査（シベリアヤツメ を対象）	平成16年度 ～17年度	9月、春季、 夏季	シベリアヤツメは、幼生時に泥中で生息 することから、ダム下流の物理環境の変 化（河床材料の粗粒化）により生息環境 が変化する可能性がある。平成16年度9月 及び平成17年度春季、夏季にダム下流河 川において泥の堆積する淵等を中心に調 査を追加する。	
昆虫類	相調査： 任意採集、トラップ調査	平成16年度 ～17年度	9月、夏季	既往の調査で比較的調査密度が低い範囲 について、夏季及び秋季の生息状況を把 握するため、平成16年9月、平成17年度夏 季に調査を追加する。	
	重要な種調査： 任意採集、トラップ調査	平成16年度 ～17年度	9月、夏季	既往の調査で比較的調査密度が低い範囲 について、夏季及び秋季の生息状況を把 握するため、平成16年9月、平成17年度夏 季に調査を追加する。	



凡例

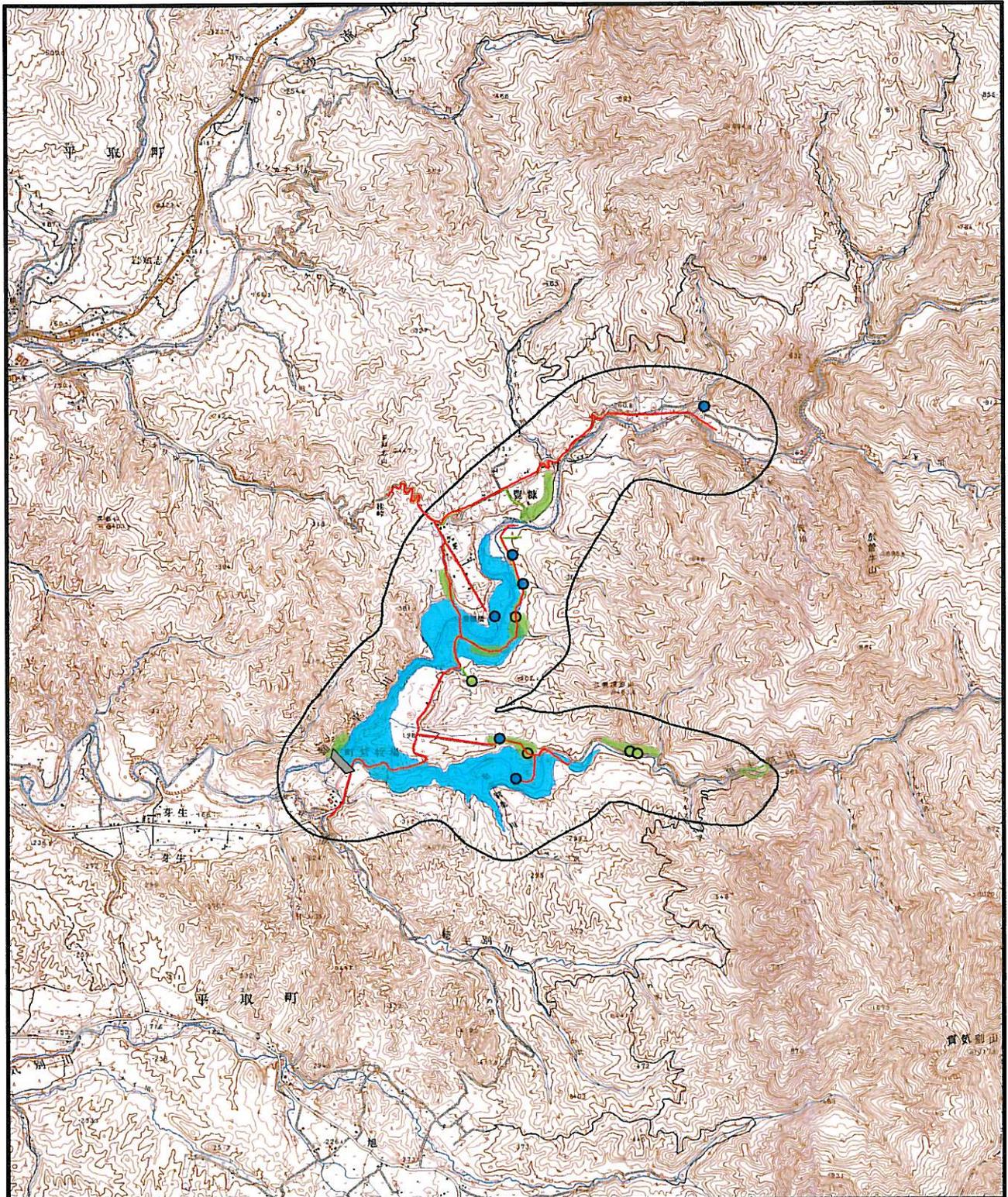
-  ダム堤体
-  重要な種（エゾクロテン）追加調査範囲
-  貯水予定区域
-  平成16年度調査経路
-  調査地域
-  平成16年度 トラップ調査地点
-  平成16年度 無人撮影法度調査地点
-  既往調査経路（平成15年度以前）
-  既往トラップ調査地点（平成15年度以前）



Scale = 1:75,000

0 1 2 4 km

哺乳類相及び重要な種（エゾクロテン）追加調査地域



凡例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  調査地域
-  平成16年度 調査経路 (追加分)
-  平成16年度 捕獲調査地点
-  既往調査地点 (平成15年度以前)
-  既往調査経路 (平成15年度以前)
-  既往調査範囲 (平成15年度以前)

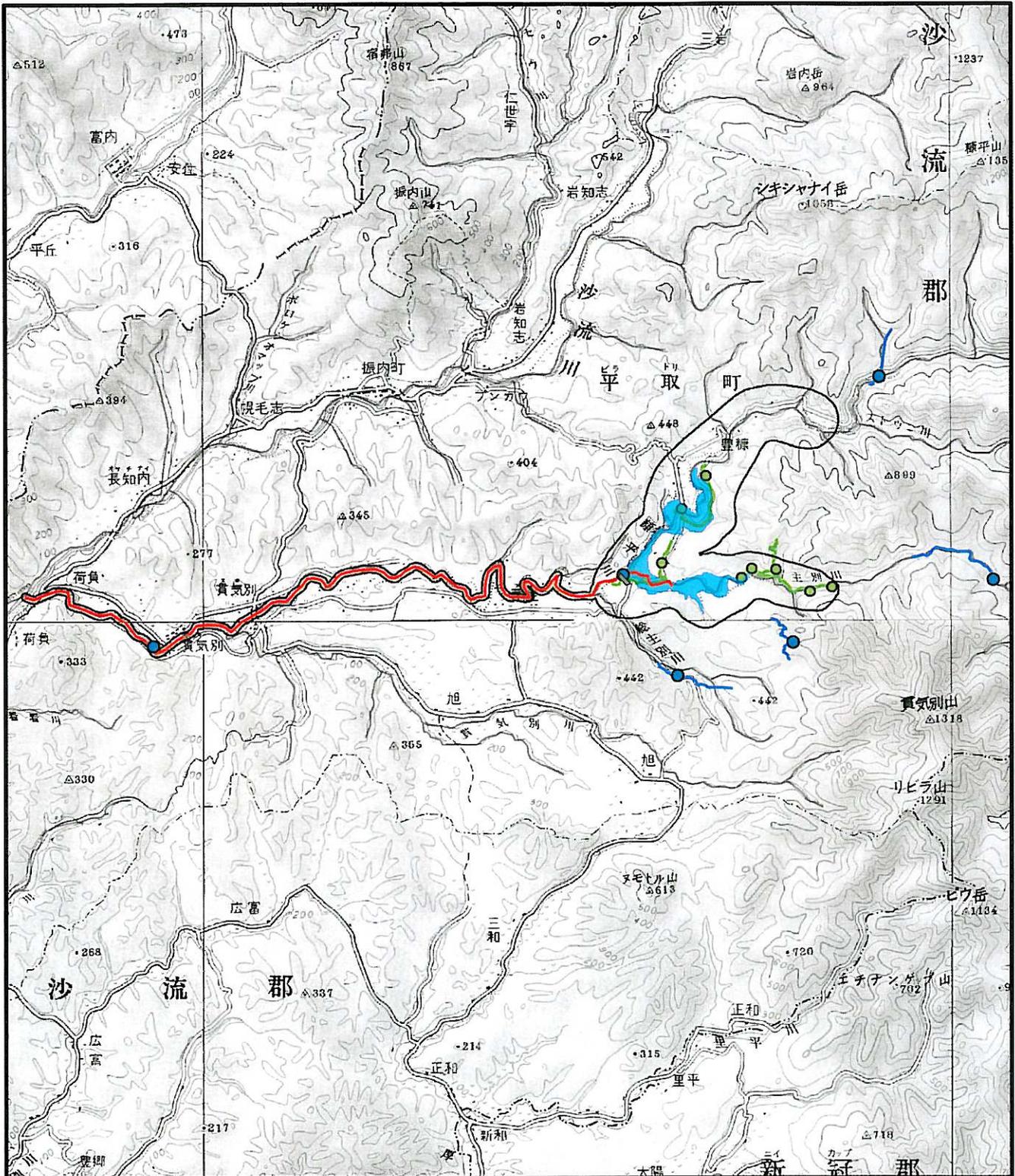


Scale = 1:75,000

0 1 2 4 km

哺乳類 (コウモリ類) 追加調査地域

3. 追加調査について



凡例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  調査地域

※鳥類相及び重要な種調査地域内を網羅するように調査を追加

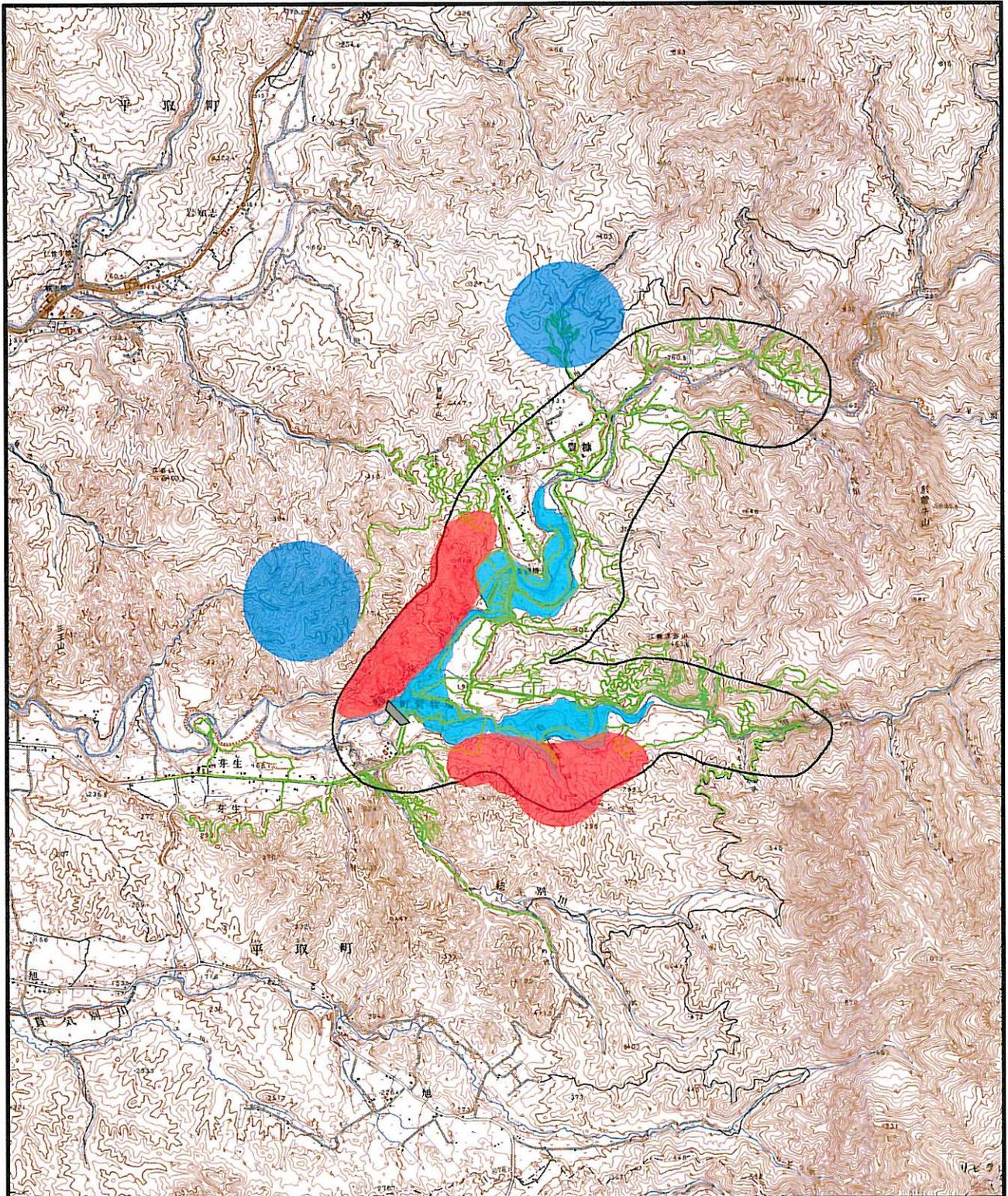
-  平成16年度 追加調査経路
-  平成16年度 調査経路
-  平成16年度 定位記録法 調査地点
-  既往調査地点 (平成15年度以前)
-  既往調査経路 (平成15年度以前)



Scale = 1:150,000

0 2 4 8 km

鳥類相及び重要な種 (ヒシクイ)  
追加調査地域



凡例

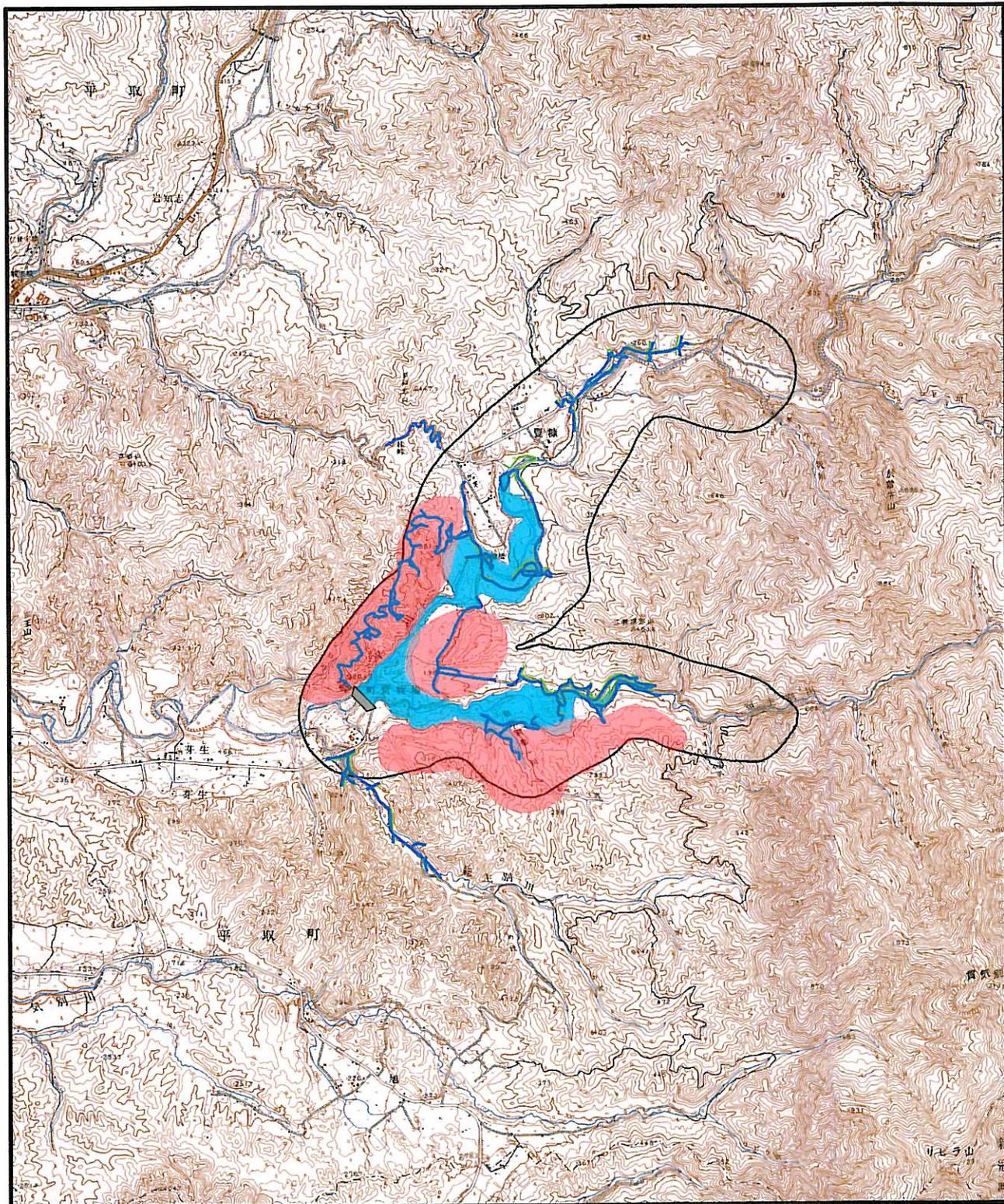
-  ダム堤体
-  営巣木追加調査範囲
-  貯水予定区域
-  平成16年度 営巣木調査範囲
-  調査地域
-  既往調査経路(平成15年度以前)



Scale = 1:75,000

0 1 2 4 km

鳥類重要種（クマゲラ）追加調査地域



凡例

-  ダム堤体
-  爬虫類相追加調査範囲
-  貯水予定区域
-  平成16年度 調査経路
-  調査地域
-  既往調査経路(平成15年度以前)

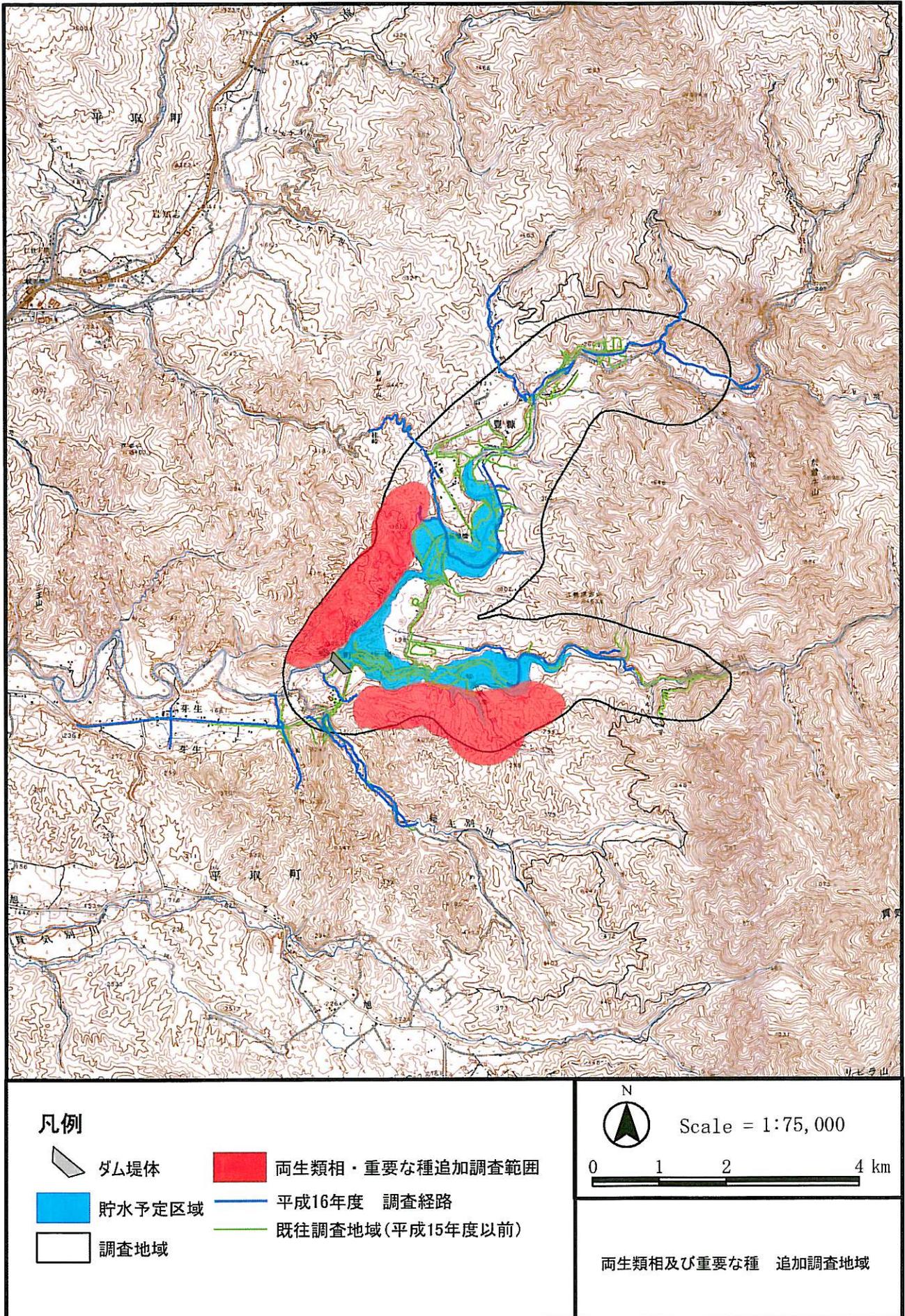


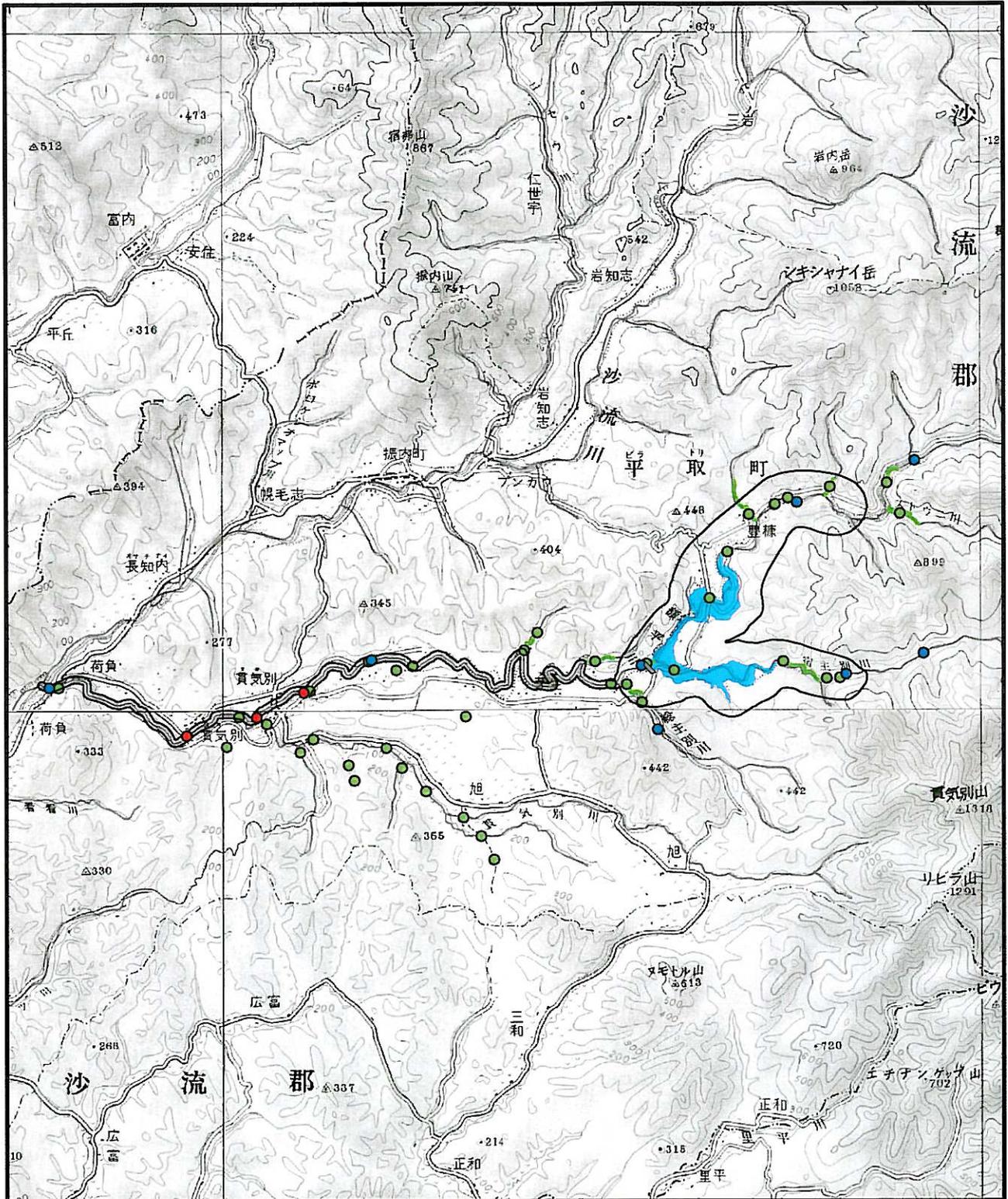
Scale = 1:75,000

0 1 2 4 km



爬虫類 追加調査地域





凡例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  調査地域
-  重要な種(シベリアヤツメ、スナヤツメ) 追加調査地点
-  平成16年度 調査地点
-  既往調査地点(平成15年度以前)
-  重要な種(サクラマス)産卵床調査(平成15年度以前)

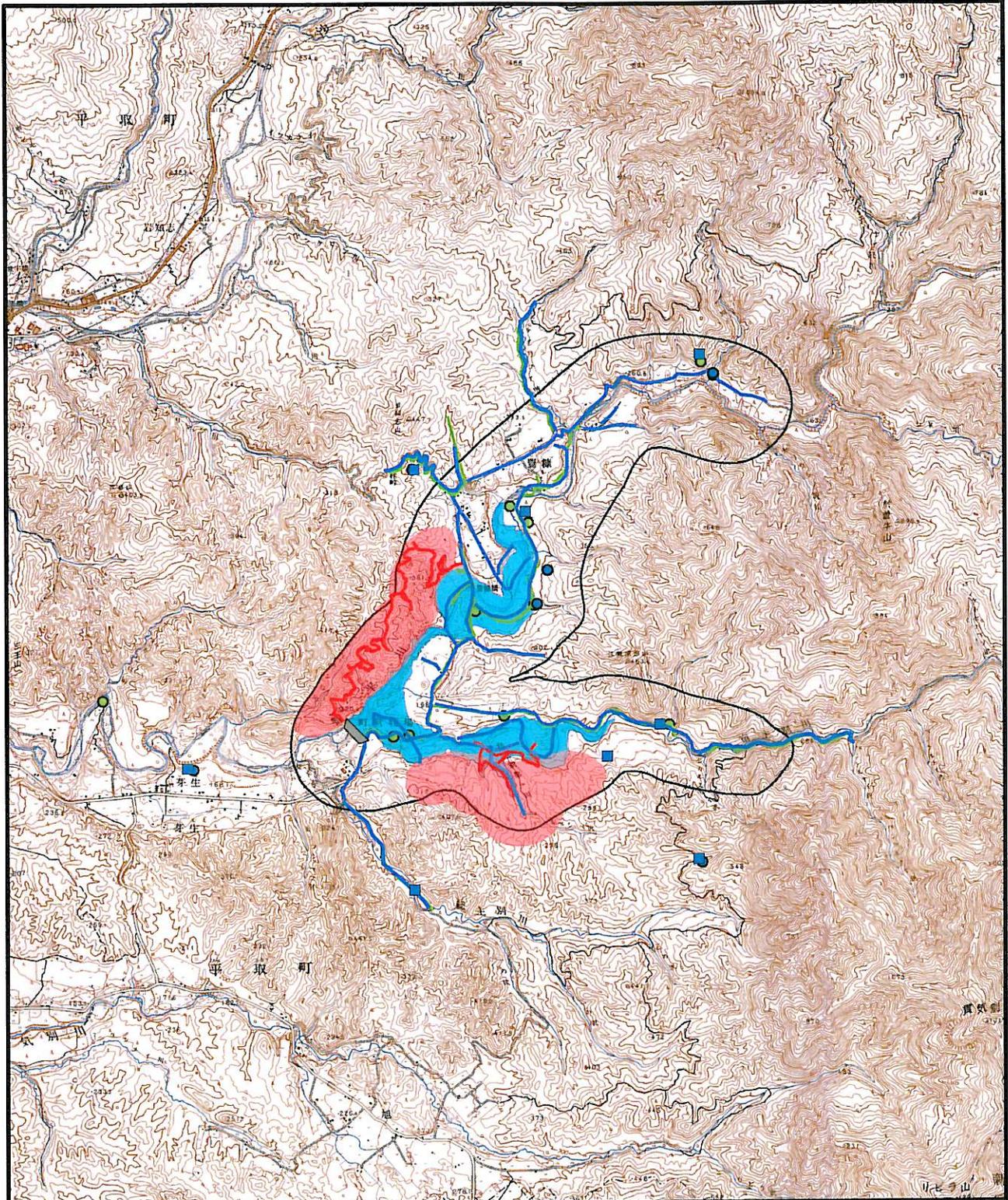


Scale = 1:150,000

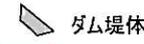
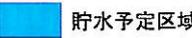
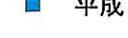
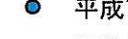
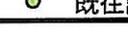
0 2 4 8 km

魚類相 重要な種 追加調査地域

平成16年度に平成15年以前と同じ位置でサクラマス調査が行われている。



凡例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  調査地域
-  昆虫類相・重要な種 追加調査範囲
-  昆虫類相・重要な種 追加調査経路
-  平成16年度 調査経路
-  平成16年度 ピットフォールトラップ設置地点
-  平成16年度 ライトトラップ設置地点
-  既往調査経路 (平成15年度以前)
-  既往調査地点 (平成15年度以前)



Scale = 1:75,000

0 1 2 4 km



昆虫類相 追加調査地域